

新年互礼会を開催 行政担当者などが出席

広島県鉄構工業会



行政や有識者も迎えて新年を祝った

去した同工業会Hグレードファブ、ミツヤ工業の光村哲也会長に黙とうを捧げた。

続いて、山本理事長が光村氏との思い出として「亡くなる数日前に電話をいただき、組合の将来などについて話した。光村氏から目をかけてもらい、今の私がある」と感謝の気持ちを述べ、業況について「全国的に好調だが、バブルに似ており、安心してはいけない。業界の諸先輩から経験を学ぶことが大切だ」と語った。

広島県鉄構工業会(理事長山本泰徳・ステントス社長)は1月22日、ホテルグランヴィア広島で新年互礼会を開催した。広島県土木

木建築局の宮崎昌二建築技術部長、的場弘明管轄課長、広島大学の松尾彰名誉教授、広島工業大学工学部建築工学科の清水斉教授が来賓で出席した。

また、宮崎部長が「学校施設の耐震化に貢献いただき、100%達成することができた。引き続き協力をお願いしたい」と述べ、松尾名誉教授は、同工業会と



藍綬褒章を受章した坂元会長(左)と中尾相談役(右)、中央が山本理事長

清水教授が共同で取り組んだ「孔あけ加工方法の違いに関する研究」が各方面で高く評価されているエピソードを紹介した。

新年互礼会では、坂元鉄工業会長の坂元享会長が16年秋に、中尾鉄工所の中尾建三相談役が17年秋に保護司としての長年の活動により藍綬褒章を受章したことを紹介、表彰した。坂元会長は「服役を終えた少年と面談することは簡単ではなく、これ

までさまざまなことがあったが、活動して良かったと感じている」と述べ、中尾相談役も「少年院を出た後、勉強して医者になった者もいる。可能性を持った若者を支援する大切さを感じている」と話した。



共済商品の説明会も実施

●共済事業の取扱商品を紹介 新年互礼会に先立ち、技術勉強会を開催。全構協共済事業商品である住友三井オートサービスについて、住友三井オートサービス広島支店の井上裕貴氏がコストメリット等を説明。トラックなども対象になると述べた。レーザマシンでは、アマダマシントール特販推進部門の白石琢磨部門長が同社のレーザ開発の歴史や最新機を紹介した。